

第1回サマースクール報告

第1回 JEMEA 若手サマースクールの報告



若手アカデミー部会ワーキンググループ部会長 堀越 智
上智大学 理工学部 物質生命理工学科 環境化学工学研究室
〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-
e-mail: horikosi@sophia.ac.jp

9月12日(月)～13(火)に中部大学の新穂高山荘で「第1回JEMEA若手サマースクール」を開催した。開催のきっかけはJEMEA若手アカデミーワーキング部会の中で、「マイクロ波加熱の研究を行っているが、加熱原理や電磁波に対する様々な疑問から、研究がなかなか進まない」といった意見が挙げられたことにあり、これらの疑問を解決するためにサマースクールを開催することを決定した。開催のための実行委員会(若手アカデミー部会)では、夏時期に涼しい場所で宿泊型のサマースクールにすることがすぐに決まり、第1回はマイクロ波加熱・伝熱について着目することが企画された。その後に開催候補地の提案があり、中部大学所有の新穂高山荘で開催させていただくことが決まった。

場所が新穂高と、交通が非常に不便な場所であったにもかかわらず、当初の参加者予定人数(17名)をはるかに超え、25名(うちJEMEA会員16名、非会員9名)の方々に参加していただいた(図1)。もともとは、学生中心で学生間の交流を図ることも目的としたが、今回に限り、年齢に関係なく「自薦で若い方」でも受け付けることにした。

勉強会では、「マイクロ波工学とは(実演付き)」三谷友彦先生(京都大学)、「伝熱工学とは」朝熊裕介先生(兵庫県立大学)、「材料から見たマイクロ波加熱とは」杉山順一先生(産業技術総合研究所)の内容で講義を行っていただいた。参加者が疑問を気軽に講師に質問できるような雰囲気でも、講義を進めていただいた。また、これとは別に参加者が抱えている研究内容の悩みをプレゼンで解説し、ほかの参加者から意見をいただけるような場も設けた。JEMEAとしては宿泊を伴う行事は初めてであったが、秘境の温泉に加え、初日の夜は少しのお酒も入り、年齢・経験を超えて親睦を図り、時間を気にせず行える場が提供できたと考える。第2回は信州方面で2017年夏～秋に行うことを決定しており、皆様のご参加をお待ちしております。



図1 参加者の集合写真